

災害看護

「災害時アクションカード」とは、緊急時に集合したスタッフに配布される行動の指標となるカードです。災害時に、限られた人員と医療資源で、できるだけ効率よく緊急対応を行うことを目的としています。それぞれのアクションカードには、マニュアルに準じて、個々の役割に対する具体的な指示が書き込まれており、その役割に就いた人がアクションカードを読めば、必要な責任範囲と行動がわかるようになっています。

アクションカードの例

それぞれの役割毎に行動を明示する

- 看護補助者用 アクションカード
- チームメンバー アクションカード
- チームリーダー アクションカード
- 師長 アクションカード
【地震 平日用】

※アクションカードの色に決まりはありません

師長 アクションカード
【地震 平日用】

- 自身の身の安全確保
- スタッフに大声で自身の安全確保を指示する
- 職員の安否確認、チームリーダーを決定し、アクションカード配布
- 病棟内一斉放送で「患者さんへ連絡致します。只今大きな揺れが発生しました。スタッフが誘導しますので指示があるまでその場でお待ちください」
- 災害ファイル式を持ち出しナースステーションから離れず指示する
- 電子カルテシステムが使用可能な場合、最新の管理日誌と状態一括を出力する
- 以下の項目についてスタッフより報告を受ける
 - ・医療機器の安全確認
 - ・スタッフの安全確認
 - ・患者の安全確認
 - ・設備の安全確認
- 災害対策本部報告用紙②に記入し現状把握、報告準備

地震平日用 一般看護 アクションカード (案)

アクションカードの使用方法的例

災害が起きた!

カードに各自の役割が記載されています。カードの内容に従って行動を開始してください。

リーダー カードは各メンバーに渡す 各部署メンバー

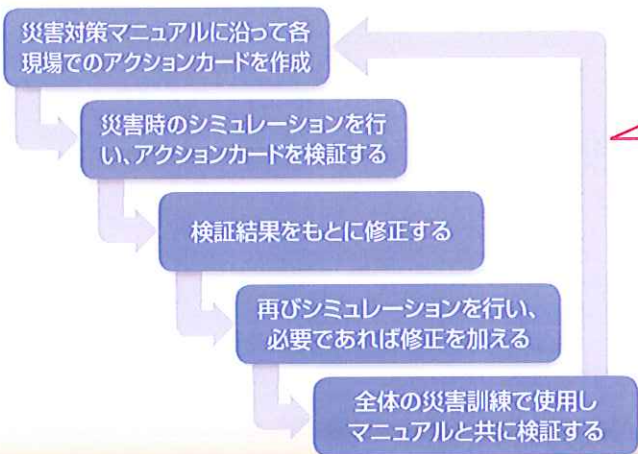
それぞれがカードに従って活動
応援メンバーは部署のリーダーの指示を受ける

【使用時の約束事】

- ①リーダーの指示に従う
- ②リーダーからアクションカードを受け取りカードの内容に沿って活動する
- ③落ち着いて行動する

各自治体や病院では、その規模や地域の特性によって、それぞれ実効性のある災害対策マニュアルが必要です。このマニュアルに基づいて災害訓練を実施し、内容の検証と定期的な改善を行うことが、「生きた」災害対策マニュアルに繋がります。

アクションカードの作成方法



「生きた」災害対策マニュアルを作成するために、PDCA サイクル*1に沿って実行していく事が大切です。

*1 Plan 計画 → Do 実行 → Check 評価 → Act 改善

▶「備えあれば憂いなし」という言葉がありますが、災害に関しては、準備をどれだけ行っても十分という事はありません。マニュアル作成と災害訓練を繰り返しながら、「生きた」災害対策マニュアル作りを行いましょ。